

佐渡米通信

こめ〜る

2019年 05 月号

発行日:2019年5月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部米穀販売課 山田・藤巻
Jasadoeinoubu20@dune.one.ne.jp

令和元年産米、田植え開始!

10連休開始のニュースとともに、島内各地で田植え作業が始まりました。例年であれば連休後半には島全体の8割の田植え作業が終了するところ、令和元年の米づくりは、例年より2~3日遅い5月9日頃に最盛期を迎えました。

気温が上がる4月中旬まで田んぼを乾かすことにより、土壌への酸素供給と有機物の分解が進み初期生育が良くなることを期待し、水田への入水時期を昨年までよりも遅らせて耕起作業を行ったことも田植え時期が遅れる原因となりました。

植え付け後は晴天続きの為、若干水が不足している田んぼもありますが、あつという間に丈がのび株数も増えています。

田植えの動画が
ご覧いただけます



一本一本丁寧に

3年目となる「田んぼアート」田植えが、5月11日島内外から100名の参加で行われました。今年の図柄は人気アニメ「けものフレンズ」のキャラクターと二羽のトキが飛ぶ姿になっており、細かい色分けでの植え付け作業はとても大変でした。しかし、30aのほ場全てを手植えた後に、トキがほ場の上を飛ぶ姿が見られ、田植え作業の疲れも吹っ飛びました!!



何かいるかなぁ?



大人に手伝ってもらいながら、水の中を探索しています。

8年連続、野生下でトキのヒナ誕生

平成24年に、初めて野生下でのヒナ誕生と巣立ちをして以来、毎年ヒナが誕生し、野生下のトキは順調に増え続けています。令和元年5月現在で327羽が自然界(1羽は佐渡島外)で暮らしており、田んぼで餌を探す姿を頻繁に目にするようになりました。トキの繁殖期は7月頃までとなっており、昨年生まれた60羽を超えるヒナの誕生となることが期待されています。



佐渡の大地を駆け抜ける

4月21日、2,369名のランナーが参加し、「第10回佐渡トキマラソン」が開催されました。スタートとゴールの会場となった「おんどこドーム」には、同時開催のイベント「食の彩店」(佐渡の食材を使った出店)に訪れる人とランナーの応援に駆け付けた人でとても賑わっていました。

フィニッシュしたランナーには豚汁と佐渡産コシヒカリ「朱鷺と暮らす郷」米を使ったおにぎりが配られ、佐渡ならではの「お・も・て・な・し」に走っている時の苦しそうな顔とは一変し、皆から笑顔がこぼれていました。

